

平成 30 年度「健やかな身体」育成プログラム

学校番号：33061

学校名：市立札幌開成中等教育学校

プログラム改定のポイント		◎ I B プログラムを活用した課題探究的な学習による保健体育科の授業を実践（外部講師活用を充実） ◎健康な心と身体を育成するための「こころとからだの時間」（総合的な学習の時間）（外部講師活用を充実）	
項目名	項目内容	項目内容の具体	
目標	「健やかな身体」の育成に係る目指す子ども像	☆全ての教育活動を通して健康・安全で活力ある生活を送ることができる子ども ☆新たなヒト・モノ・コトとの出会いを通して逞しく挑戦し、主体的に考え行動する子ども	
「健やかな身体」に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○新体力テストにより自己の体力を分析 ○探究を基盤とした指導を通年で実践（最重点） ○A-bankとの連携、パラリンピックノルディックスキーマの監督の講演等、外部講師との連携	【成果】 ⇒主体的に運動に取り組もうとする生徒が多い。※全国調査では、本校で体力・運動能力の向上の目標を立てている生徒は約 77%（全国は約 68%、北海道は約 67%） ⇒取組過程での多様なスキルに効果的だった。 ⇒札幌市が取り組む多様な事業への参加を通して、スポーツへの興味・関心が高まり、より複雑で高度な概念理解につながった。
	B 健康に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○「赤ちゃんふれあい体験」や「生命と人権をテーマにした探究活動」等、「こころとからだの時間」を通じた多様な取組	【成果】 ⇒生命の尊重、国際的な人権課題等のテーマについて、グループ探究、カフェテリア方式の交流、異学年交流等、多様な方法を用いた学習により、自らのこととして取り組む意識が高まった。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【A】 外部講師の連携をより一層充実させると共に、体力・運動機能の向上についてもさらに積極的に取り組む。	
	A 体育に関する指導の充実	○課題探究的な学習の取組過程でより一層スキル（A T L）が高まる指導の工夫 ○グループ学習やペア学習などの協働学習により、コミュニケーションスキルが高まることによって運動の楽しさを味わう指導の工夫 ○大学との連携、A-bankとの連携等、外部機関との連携の継続と、活動の工夫	
	B 健康に関する指導の充実	○「地産地消」をテーマに取り組むアニマドレープロジェクトの取組と運動し、食育の手引きを活用した指導の工夫 ○1年から6年までの異学年交流を取り入れた取組の工夫 ○産婦人科医師派遣事業を活用した幅広い課題探究的な学習の工夫	
検証の方法	各種調査等の活用	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用 ○学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 ○学校評議員会・学校関係者評価等の活用	